

質問回答集 ウェブセミナー：研究開発・知財戦略を支援！大きな特許データを自由度高く迅速に分析

| 質問 | 回答 |
|---|---|
| 1 今後質問があつた時の連絡先を教えていただけますでしょうか？例えば、今回の資料で紹介していただいた個々の機能を実現する手順についてまた質問させていただきたいと思います。 | カスタマーサービスまでご連絡ください。 カスタマーサービス（ヘルプデスク） Tel (フリーコール) : 0800-170-5577 Tel : 03-4589-3107 Email: ts.support.jp@clarivate.com サービス時間：月～金（祝祭日を除く） 午前9時30分～午後5時30分 |
| 2 弊社でDerwent Data Analyzerは契約していないように思います。スポット的な分析依頼もできるのでしょうか。 | 分析依頼も可能です。担当営業または下記までお気軽にご連絡下さい。 Email: marketing.jp@clarivate.com Tel: 03-4589-3101 |
| 3 機会学習による読み込み作業、分類作業の効率化について興味があります。特に、教師データはどのような内容が必要かを教えていただけますでしょうか。 | 学習させる教師データとして、分類とその分類が付与されたテキストデータの対応したファイル（例えば下記のようなExcelファイルが必要です。） |
| 4 DDアナライザのより具体的な使用事例が欲しいです。特に向いている分野、向いていない分野があれば、それぞれの事例に入れて説明をいただきたいです。 | 事例集の資料がございます。またご希望の分野の事例紹介も可能ですので、担当営業または下記までお気軽にご連絡下さい。 Email: marketing.jp@clarivate.com Tel: 03-4589-3101 |
| 5 本日のツールである特許が他の特許の権利を侵害しているということを予想するような機能がありますか？またそのようなことは可能でしょうか？ | 侵害しているかどうか予想する機能はございません。分析対象の母集合の中に、ある特許と似ている（テキストデータが似ている）特許を探し出す機能がございます。この機能により、技術的に似ている特許が見つかれば、権利侵害を想定できるかもしれません。 |
| 6 統計機能は面白い試みと思いました。実際に貴社でご利用されている事例等ありますでしょうか？ | 統計機能の計算式はリリースして間もないため、まだ実際の利用事例はございません。今後実践的な事例を用意して参ります。 |
| 7 AI分類機能では、何項目まで分類できますでしょうか？また教師データの数は何件くらいから使い物になりますか？ | 機械学習による自動分類は項目数に上限はございません。必要な教師データは、学習の信頼度がある程度の高さになるくらいの件数と質（分類の特徴が明確なデータ）が必要になります。 |
| 8 Derwent Data Analyzerで解析対象とされているテキストはDWPI抄録に限つるものでしょうか？ また自動分類はDWPI抄録以外のテキスト情報も活用されるのでしょうか？ | テキスト解析の対象はDWPI抄録に限りません。 自動分類はDWPI抄録以外でも、ユーザーの方がご利用の特許データ（公報の英語データなど）でも活用できます。 |
| 9 DDAver.11の新機能 ベータ版の日本語、中国語処理はすぐに利用可能ですか？ | DDA11にバージョンアップして頂くと日本語、中国語処理が可能です。 |
| 10 DDAについて、以前、御社の会議室にて無料講習会を開催されていた記憶ですが、現在は、コロナ関連で実施されていないでしょうか？どこかのタイミングで参加してみたいと思いました。 | 現在、弊社の会議室では3名様までの講習会を各社のご希望に合わせて開催させて頂いております。 ご希望でしたら、担当営業または下記までお気軽にご連絡下さい。 Email: marketing.jp@clarivate.com Tel: 03-4589-3101 |